

# 佳作

キャッチフレーズ

# 山寄りの家

所有者：梅原 實  
応募者 設計者：スタジオ紡 建築設計事務所 林 寿子  
施工者：有限会社 浜中材木店 代表取締役 浜中 英治

建物概要  
建築面積 34.78㎡  
延べ面積 57.96㎡ (1階 34.78㎡ 2階 23.18㎡)

## 設計趣旨

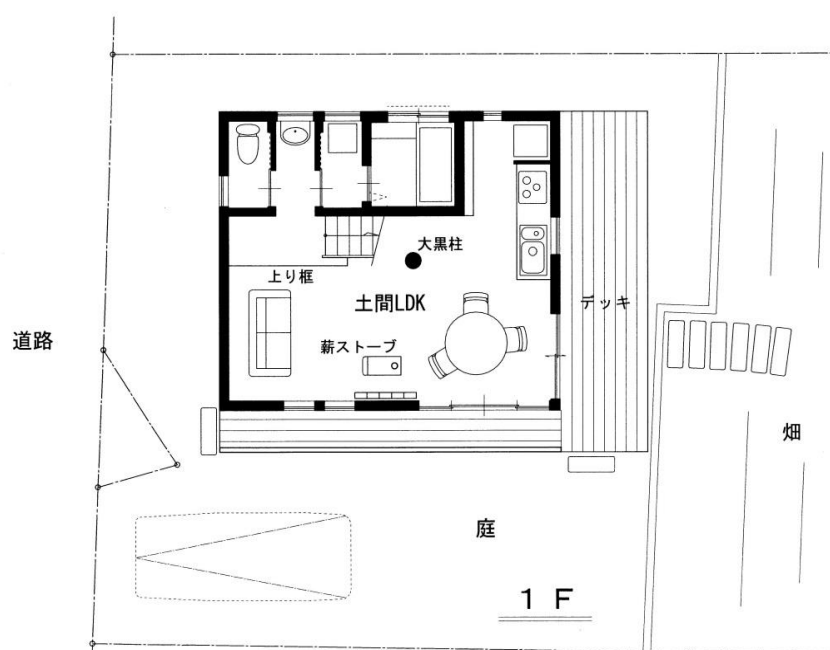
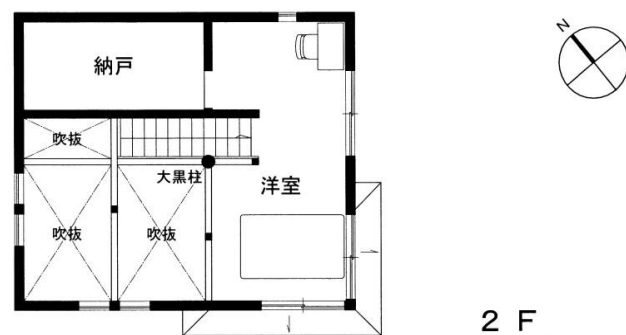
「別荘ではあるけれど、そう遠くない将来この山の家で暮らしたい」と既に心は山寄りであった施主との家造りは実に明確で、要望は簡素なこと、そして東京の山で育った木を使うこと、この二つだけでした。南に傾斜した敷地の唯一平らな北側部分に納まるよう、必要最低限の部屋だけを小さく配置。土間床のLDKと庭や畑を直接行き来するため、玄関も無くしました。

使われている木材は構造材から下地材、そして仕上げ材まで全て東京の山で育ったもの。100%多摩産材です。

合板類は一切使わず、構造の骨組みは大工による手刻み。それぞれの特徴を見て適材適所に振り向け、丁寧に加工し造り上げる仕事ぶりを間近で見るたび、無垢の木の家造りには良材と確かな大工技術が不可欠であることを感じます。

簡素で小さな家ですが、景色や庭も含め、暮らしを楽しむ心地良い空間にできたと感じています。

## 各階平面図



家の中心、土間リビングに手触り良い丸太の大黒柱。



二年経ったサワラ板張りの外観。すっかり景色に溶け込んでいる。



長ホゾ、込栓で組み上げた構造は大工の技。



桧の階段。スリットで室内が広く感じる。



赤身の美しい杉材で作った建具。